

アドベント

降りてきた希望



もくじ

- I. はじめに
- II. ルカ 1:5-25 ザカリヤの応答
- III. ルカ 1:26-38 マリアの応答
- IV. ルカ 1:39-56 マリアの賛歌



はじめに

はじめに

ルカは十二使徒の一人ではありませんでした。彼はギリシャ人の医師で、パウロが福音を宣べ伝える際に同行した人物です。ルカはこの福音書を、「ルカの福音書」と「使徒の働き」から成る一つの著書の第1巻として書きました。両巻ともテオフィロに宛てたもので、似たような文体で書かれています。「使徒の働き」では、はじめの部分で「ルカの福音書」に触れています（使徒 1:1-2）。ルカはイエスに直接会ったことはありませんが、学者、医師として目撃者たちにインタビューし、イエスの生涯の出来事を記録することを試みました（ルカ 1:1-4）。ルカの福音書は、3つの共観福音書（マタイ、マルコ、ルカ）の中で最も詳細な内容になっています。

大きなストーリーの中に位置づける

ルカの福音書はイエスが、旧約聖書に書かれているユダヤ人と異邦人についての様々な約束を成就させる方であると伝えています。ルカは、社会から疎外された人々（取税人、売春婦、異邦人など）へのイエスの思いを強調しています。そして、イエスが最も関心を持っていることについて、彼の働きと関連させて語っています「人の子は、失われた者を捜して救うために来たのです」（ルカ 19:10）。ルカは、イエスの苦難についての預言、エル

サレムへの旅、そしてイエスの働きと死に対する神の主権に目を向け、イエスが上記のみことばをどのように成就させたかを示しています。ルカの福音書の最初の3章では、イエスのアイデンティティーを確かなものとする7人の人物が紹介されています。

- 天使**ガブリエル**は、ルカの福音書の中で最初に、イエスが神の子であるとしています（ルカ 1:31-34）。
- **マリア**は、自分の息子が神の子であること、そしてその子が人々を救うために来ることを信じています。彼女は神の約束が実現し、アブラハムの子孫が救い主になると信じています（ルカ 1:46-56）。
- ザカリアの妻であり、バプテスマのヨハネの母**エリサベツ**も、イエスが神の子であることを肯定しています（ルカ 1:44）。
- **天使たち**は救い主の誕生を宣言しました（ルカ 2:11-14）。
- **シメオン**はイエスが救い主であることを断言しました（ルカ 2:30-31）。
- **アンナ**はイエスがメシヤであることを知っています（Luke 2:38）。
- **聖霊**が鳩のような形をしてイエスの上に降り、天からの声はイエスが神の愛する子であることを宣言しました（ルカ 3:22）。

ザカリヤの応答

ルカ 1:5-25



ルカ 1:5-25

ザカリヤの応答

聖書箇所

ルカ 1:5-25

大きな目的

預言者マラキがエリヤの到来を約束してから400年が経ちました (マラキ 4:5-6)。イスラエルという国は、もはや独立国ではありません。王は外国人であり、ローマの代理人であるヘロデ大王です。このような環境の中で、神はご自分の民を訪れることを選びました。天使がマリアの前に現れ、処女であるにもかかわらず、神の子を産むことを告げます。天使はマリアを安心させ、彼女のいとこエリサベツも妊娠していると伝えました (長年不妊だった)。マリアはエリサベツを訪ね、二人は、神がマリアを祝福し、約束のメシアの母としてくださったことを喜びました。

概要

神殿での務めのために、祭司は24の組に分けられ、それぞれの組が年に2回、1週間の奉仕をしました。また、大きな祭り (過越の祭り、五旬節、仮庵の祭りなど) の際には、すべての組が務めに携わりました。ルカは、一人の祭司ゼカリヤと、その妻エリサベツに焦点を当て、彼らが神のすべての命令において罪がなかったこと、そして子どもがいなかったことを述べています (6-7節)。ここでの問題は、子どもがいなのは、神が何らかの不服を感じているから、とユダヤ人がみなしていたことです。彼らは子どもを主からの報酬と見なしていました (詩篇 127:3)。したがって、この物語は次のような問いを私たちに投げかけることになります。

- なぜ、彼らのように敬虔な夫婦に子どもがいらないのか？
- 彼らには隠れた罪があるのか？
- 彼らの信仰には何かが欠けているのか？
- 神は彼らに罰を与えているのか？

観察と意味

1. ルカは、ゼカリヤとエリサベツについて、ノア(創世記 6:9)、アブラハム(創世記 17:1)、ヨブ(ヨブ 1:1)などの義人に対して使われたのと同じような言葉を使いました(6節)。「主のすべての命令と掟を落度なく行っていた」とは、ゼカリヤとエリサベツが罪を犯さなかったということでしょうか? そうでないとしたら、どういうことでしょうか? もし「正しい人」にも罪があるとしたら、どのようにして神の前に「落ち度のない」ままでいられるのでしょうか(詩篇 32参照)?
2. ゼカリヤは、聖なる場所で香を捧げるために「くじ引き」で選ばれたと書かれています(9節)。これは、ほとんどの祭司が一生に一度しか経験しない、大変な栄誉でした。ルカは、このように小さな詳細を載せることで、ゼカリヤの人生における神の関わりについて何を語っているのでしょうか?
3. マラキは、来るべき預言者、エリヤのように主の前に出て行く人について語りました(マラキ 4:5)。天使は、ゼカリヤの息子がこの人物になると告げました。ゼカリヤの息子が最終的に果たす役割について、聖書は何を教えてくださいか(15-17節)?
4. 天使のお告げを聞いたゼカリヤは「私はそのようなことを、何によって知ることができるでしょうか」と動揺しています(18節)。ゼカリヤのひそかな不信仰を裁く前に(20節)、天使は彼に答えます(19節)。ここで、神が自分たちの益のために働いていることを信じず、もっと証拠を求める人々に対する神の姿勢について、何が分かるでしょうか?

適用

- ペテロがイエスを3度否定したのと同じように(ルカ 22:54-62)、ゼカリヤの不信仰は一時のことであり、一生続くものではありませんでした。あなたの人生のどの部分に「ひそかな(表面からは見えにくい)不信仰」がありますか? 神の力の働きを見ることを期待していない時、あなたは宗教的なルーティン(聖書を読んだり、教会に行ったり)をどのように行なっているのでしょうか?
- ゼカリヤがちょうど良い時にくじで選ばれたことは、神の主権を明らかにするものです。神はご自身のタイミングで御心を達成します。人生の中で、神がどのようにご自身のタイミングで御心を成してくださったかを分かち合ってください。

マリアの応答

ルカ 1:26-38



ルカ 1:26-38

マリアの応答

聖書箇所

ルカ 1:26-38

大きな目的

預言者マラキがエリヤの到来を約束してから400年が経ちました(マラキ 4:5-6)。イスラエルという国は、もはや独立国ではありません。王は外国人であり、ローマの代理人であるヘロデ大王です。このような環境の中で、神はご自分の民を訪れることを選びました。天使がマリアの前に現れ、処女であるにもかかわらず、神の子を産むことを告げます。天使はマリアを安心させ、彼女のいとこエリサベツも妊娠していると伝えました(長年不妊だった)。マリアはエリサベツを訪ね、二人は、神がマリアを祝福し、約束のメシアの母としてくださったことを喜びました。

概要

ルカは、バプテスマのヨハネの誕生からイエスの誕生の告知へと話を移します。処女の受胎とイエス・キリストの働きという、より大きな奇跡は、ヨハネの誕生と宣教を通した神の力強い働きをはるかに凌いでいくのです。アドベントとは、神の子の受肉に関することです。

- 神が人となる
- 超自然が自然となる
- 主権者が弱者になる
- 聖なる方が一般人になる
- 神聖な(卓越した)方が人となる
- 不可能が可能になる

多くの人にとって、神が人となり、処女から生まれたという考えを受け入れることは難しいと感じられます。マリアもまた、これらの真理と格闘しました。彼女は混乱し、恐れていました。このことを両親にどのように説明するのでしょうか？未婚の母として、不確かな未来に直面することになります。社会の中で彼女に村八分にされ、あざ笑われ、恥をかくことになるでしょう。ヨセフは彼女の元を去っていくでしょう。マリアはすべてを失う覚悟で、天使のお告げを現実として受け止めました。

観察と意味

1. 天使はマリアのことを「恵まれた方」(28節)と呼び、「あなたは、神から恵みを受けたのです」(30節)と語りかけました。マリアが、神から恵みを受けたとはどういう意味ですか？聖書の他のどの箇所がこの表現を使っていますか？

聖書箇所	誰?	背景
創世記 6:8		
創世記 18:3		
創世記 39:12		
創世記 43:14		
士師記 6:17		
1サムエル 1:18		

2. マリアの子どもに与えられた称号は何ですか(31-33、35節)？それらに込められた意味とは何ですか？
3. なぜここで、エリサベツの妊娠についても語られているのでしょうか？
4. マリアの天使に対する応答が一般的でない理由は何でしょうか(26-38節)？

適用

- ギリシャ神話の中で、ゼウスやヘラクレスは人間の姿をしています。外見の完璧さや、戦いにおける勝利の姿を保っています。イエスは弱く、力がない姿となりました。やがて亡くなりました。仏教、イスラム教、ユダヤ教などの宗教は、神が人間になるという考えを否定しています。聖書は独自の見解を持っています。神が人間になるという考えは、なぜそんなに重要なのでしょうか？それは、あなたのクリスチャン信仰にどのような影響をもたらしますか？
- 宗教的な人は苦しみに遭遇すると、神が自分たちを裁いているのだと結論づけます。世俗的な人は苦しみに遭遇すると、神は存在しないか、もはや気にかけておられないと結論づけます。あなたはどちらを考えがちですか？受肉はこれらの結論をどのように無効にするのでしょうか？
- マリアは社会的に疎外され、経済的に貧しく、法的権利もありませんでした。軽蔑された者と共に働き、忘れられた者に寄り添い、疎外された者を気遣う神について読む時、あなたは何を感じますか？このことは、あなたの他者への向き合い方をどのように変えるのでしょうか？

福音は、人種、地位、言語の壁をすべて取り払います。
傲慢さや優越感をなくします。
イエスが、人となった神の子として来られ、
私たちのために卑しい身分になったことを理解する時、
愛と受け入れる心をもって他者に向き合う力が与えられます。



マリアの賛歌

ルカ 1:39-56

ルカ 1:39-56

マリアの賛歌

聖書箇所

ルカ 1:39-56

大きな目的

預言者マラキがエリヤの到来を約束してから400年が経ちました (マラキ 4:5-6)。イスラエルという国は、もはや独立国ではありません。王は外国人であり、ローマの代理人であるヘロデ大王です。このような環境の中で、神はご自分の民を訪れることを選びました。天使がマリアの前に現れ、処女であるにもかかわらず、神の子を産むことを告げます。天使はマリアを安心させ、彼女のいとこエリサベツも妊娠していると伝えました (長年不妊だった)。マリアはエリサベツを訪ね、二人は、神がマリアを祝福し、約束のメシアの母としてくださったことを喜びました。

概要

ルカの福音書のはじまりは、歌にあふれています。

- エリサベツの賛歌 (ルカ 1:42-45)
- マリアの賛歌 (ルカ 1:46-55)
- ザカリヤの賛歌 (ルカ 1:68-79)
- 天使たちの賛歌 (ルカ 2:14)
- シメオンの賛歌 (ルカ 2:29-32)

この部分は、ゼカリヤとマリアの応答をベースに、ストーリーの紹介 (39-41節)、2つの賛歌 (42-45、46-55節)、そして結論 (56節) が含まれています。

天使が去った後 (38節)、マリアはユダヤに行き、妊娠6ヶ月のエリサベツを訪ねます。マリアを見たエリサベツは、この未婚の10代の少女が「私の主の母」であると見抜きました。マリアは御霊の内に、神を崇め、礼拝する歌を歌い始めます。この歌は「マニフィカト (Magnificat)」と呼ばれており、ラテン語 (Magnificat anima mea Dominum) で「私の魂は主を崇める」という意味です。

マリアの賛歌は、最も古いアドベントの讃美歌です。最も情熱的で、最も破天荒な、そして最も革命的なアドベントの歌と言えるかもしれません。ここにいるのは、私たちが絵画の中で見るような穏やかで、優しく、夢見がちなマリアではなく、情熱的で、身を委ね、気高く、熱意にあふれて堂々と語るマリアです。この歌には、クリスマスキャロルによくある甘くどこか懐かしげな、遊び心にあふれたトーンはありません。むしろ、崩れ落ちる王座と引き下ろされるこの世の王たち、神の力と人間の無力さを歌った、激しく、強く、容赦のない歌なのです。

ディートリヒ・ボンヘッファー (1933年 アドベントの説教)

観察と意味

1. マリアの訪問に対して、エリサベツとお腹の赤ちゃんはどのように反応したのでしょうか？なぜ彼らはこのように反応したのでしょうか？
2. マリアの賛歌（46-56節）に出てくる旧約聖書の引用はどこから来ているのでしょうか？これらの旧約聖書の約束は、どのように成就したのでしょうか？
3. 処女懐胎に込められた意味とは何でしょうか？
4. マリアの賛歌は、イエスの良き知らせに対するふさわしい応答について、私たちに何を教えていますか？マリアは真の信仰の姿をどのように私たちに示していますか（29-30, 38, 45-47節）？

適用

- 神の約束を信じ待ち望む間、私たちはどのようにマリアの信仰にならうことができますか？
- マリアは、信仰と期待をもってイエスが来られるのを待ち望んでいました。イエスの受肉を祝うにあたり、私たちはどのようにイエスへの期待を膨らませていけるのでしょうか？
- あなたは、神のどの約束を信じる（信頼する）ことが最も難しいと感じますか？約束が不可能に見える時にも信じることができるよう、私たちはどのように互いに助け合ったらいいのでしょうか？

**神は、そのひとり子を私の地獄まで下らせ、
私のことを神の天国まで引き上げてくださいました。**

<https://www.gracecity.jp>

